

アルビクス・SDIキーヤー MSK-814

Rev.1.0

特 長

- ◇主信号に副信号(FIL、KEY)及びファイル(JPEG)を同時または個別に合成することができるHD-SDI対応のキーヤーです。
- ◇ゲンロック入力を持ち、出力位相をゲンロック信号に対して±1Hの範囲で調整することができます。
※主信号と副信号はゲンロック源に対して、フレームロックしていること。
- ◇副信号は合成キーに階調を持たせることができますので、スムーズな合成ができます。
- ◇主信号の音声に副信号の音声2chの音声をミキシング可能です。
- ◇音声ミキシングを行う主信号の音声チャンネルを選択可能です。
- ◇ミキシング時は、音声に対して主信号音声ゲイン設定が可能です。副信号も設定可能(0～-60dB、1dB単位)
※ ミキシングを行う副信号は、約30音声フレーム遅延します。
通常モード=(主信号音声 * 主信号音声ゲイン) + (M * 副信号音声ゲイン)
※M=(副信号ch1 + 副信号ch2) / 2
- 5. 1chモード
L、R=(主信号 L or R * 主信号音声ゲイン) + ((-3dB * M) * 副信号音声ゲイン)
C=(主信号 C * 主信号音声ゲイン) + (M * 副信号音声ゲイン)
LS、RS=(主信号 LS or RS * 主信号音声ゲイン) + ((-6dB * M) * 副信号音声ゲイン)
LFEはスルー
モードは、設定又は、ANCのフラグを見て決定する。
- ◇ファイル合成用のファイルは、LAN経由にて、パソコンから容易に保存できます。(JPEG形式)
ファイルは、制御基板内部のフラッシュメモリ(128Mbyte)に記憶します。HDサイズJPEGファイル約400枚
- ◇ファイル合成は、制御基板内に有るファイルの中からファイル4個を合成基板内部のメモリに転送し4個から1個を選択し合成します。
- ◇フェードスピードの設定が可能です。
- ◇合成キーの抽出はゲイン、スライスともに±20%100ステップの範囲で調整が可能です。
- ◇合成キー抽出のゲイン、スライスはコントロールパネルにて調整値を4種メモリ登録・呼出することができます。
- ◇プレビュー出力を持っています。
- ◇キーヤー本体は電源ユニットを2重化(並列運転)、動作状態で電源ユニットの交換が可能です。
- ◇電源OFF時は主信号入出力が、リレー接点を介してループスルーされます。
(モニター・プレビュー出力はOFFになります)
- ◇外部制御は、イーサネットで行います。(制御基板がTCPサーバ)
- ◇機器状態のみ SNMPトラップで通知します。状態に変化があった時に通知します。SETは出来ません。
機器状態: 電源、ファン、KEY基板の有無、ライン・キー・フィル入力状態、ファイル状態。
1筐体に制御基板は最大2枚有りますが、電源とファンは共通なので2枚の制御基板が通知します。
2枚間の検知・通知時間にはズレが生じます。
- ◇キーヤー本体とコントロールパネルはLANで接続されます。

仕 様

1. 合成基板(MSK-814)

◆入力信号

- 入力信号数 : 3系統[主信号(LINE)×1、副信号(FIL)×1、キー信号(KEY)×1]
 信号形式 : SD-SDI SMPTE259M-C 480i[D1]
 HD-SDI SMPTE292M 1080i 59.94 Hz
 ※ 主信号に対して、副信号とキーの位相は、-500H～+3 H 以内である必要があります。副信号とキーの位相は同位相とする。
- 入力接栓 : BNCコネクタ
 オーディオフォーマット : SD-SDI 272M HD-SDI 299M

◆出力信号

- 出力信号数 : 3系統(メイン×1、モニター×1、プレビュー×1)
 信号形式 : 入力信号と同形式
 出力接栓 : BNCコネクタ

- ◆リレースルー :電源断時に主信号入力とメイン出力間をリレー回路で機械的に短絡します。
※リレー回路通過による信号ロスを有します。
- ◆外部キー合成 :ラインに対して、キーとフィルの入力信号で合成を行います。
メインの合成ON/OFFするとプレビューも連動します。
- ◆ファイル合成 :4枚分の画像メモリを持ち、ラインに対して択一で合成を行います。
メイン/プレビューは独立して合成ON/OFFが可能です。
- ◆フェードIN/OUT :カット及びフェードスピード設定可能
0(カット),5,10,15,20,30,40,50,60フレーム
- ◆キーゲイン設定 :±20% 100段階(0~99 設定50=0%)
- ◆キースライス設定 :±20% 100段階(0~99 設定50=0%)
- ◆入出力遅延 :ゲンロック信号に対して±1Hの範囲で調整可能

2. 制御基板(MSK-815) ※制御基板は、合成基板4枚に1枚必要です。

- ◆ゲンロック入力信号
 - 出力信号数 :1系統(内部でキー基板4枚に対して分配します)
 - 信号形式 :BBシグナル SYNC:286mV バースト:286mV
 - 出力接栓 :BNCコネクタ
 - スルーアウト出力 :1系統 (75Ω 終端SWが有ります)
※筐体内で入力と出力を接続しています。(バッファ無し)
通過による信号ロスを有します。
- ◆外部制御(イーサネット)
 - プロトコル :TCP/IPサーバー、複数のクライアント、専用コントロールパネルから制御可能。
SNMPトラップ(機器状態通知)
 - 入力接栓 :RJ-45モジュラ

3. 筐体(TN-402 及び 電源PU-402×2)

- ◆基板実装数 :最大実装 合成基板 8枚、制御基板 2枚
- ◆外形寸法 :W430 × H176 × D560 mm 4Uラックマウントサイズ
- ◆重量 :約 20kg
- ◆電源電圧 :100V~240V±10% AC 50/60Hz
※リダント仕様
- ◆消費電力 :約 350VA (全負荷時)
- ◆使用温度 :5℃ ~ 40℃

4. 専用コントロールパネル(MSK-816)

◆外部制御

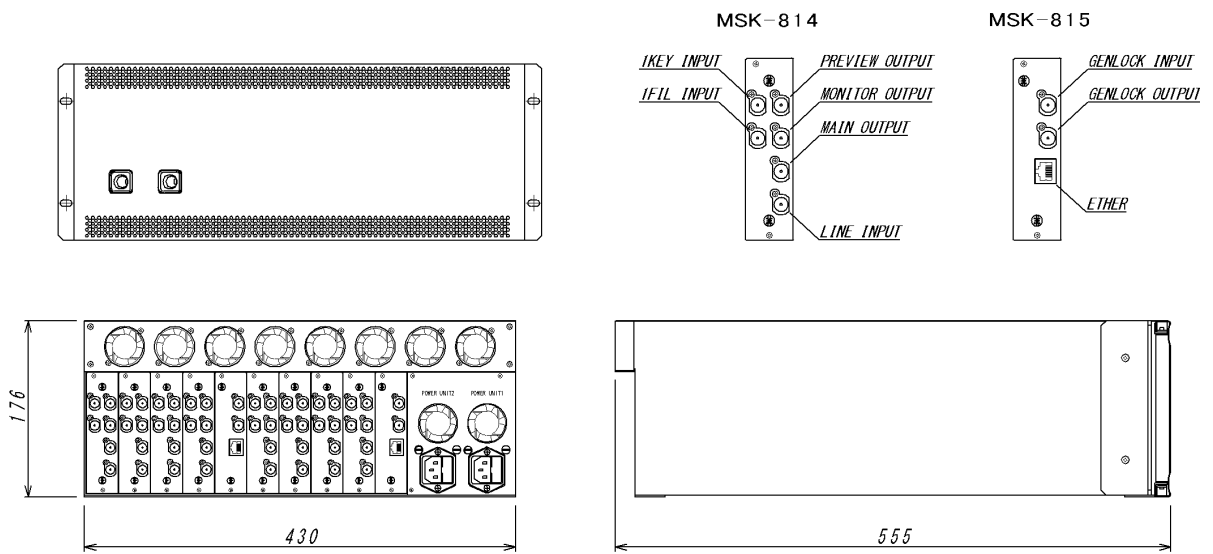
- プロトコル :TCP/IPクライアント 相手先は、PCにて設定します。
 入力接栓 :RJ-45モジュラ
 制御 :PC を用いて、1つのID(0~F)に対して、制御基板のIPアドレス(相手先)を
 1個または、複数個登録することが可能です。
 IDを選択し、チャンネル設定で合成基板を選択し制御を行います。

◆操作機能

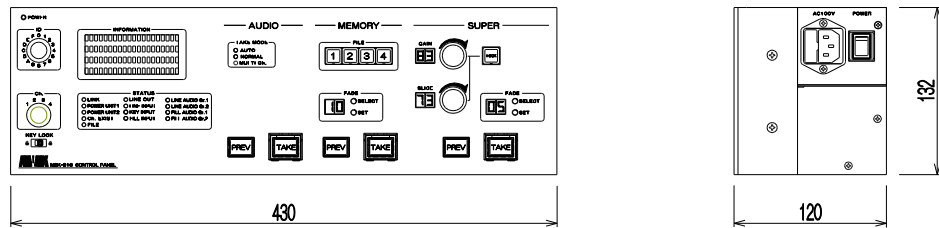
- ステータス表示
 ID設定(制御基板) :ロータリースイッチ(0~F)
 チャンネル設定(合成基板):ロータリースイッチ(1~4)
 メモリ選択 :照光式押しボタンスイッチ(メモリ 1~4)
 TAKE :カバー付き照光式押しボタンスイッチ(外部KEY, メモリ個別)
 プレビューTAKE :照光式押しボタンスイッチ(外部KEY, メモリ個別)
 フェードスピード :設定スイッチ(KEY, メモリ個別)
 KEYゲイン設定 :ロータリーエンコーダ及び2桁7セグ表示
 KEYスライス設定 :ロータリーエンコーダ及び2桁7セグ表示
 音声 TAKE :カバー付き照光式押しボタンスイッチ
 音声プレビューTAKE :照光式押しボタンスイッチ

- ◆外形寸法 :W430 × H132 × D120 mm(突起含まず)
 ◆質量 :約 3 kg
 ◆電源電圧 :100 V~240V±10% AC 50/60Hz
 ◆消費電力 :約 15 W
 ◆使用温度 :5°C ~ 40°C

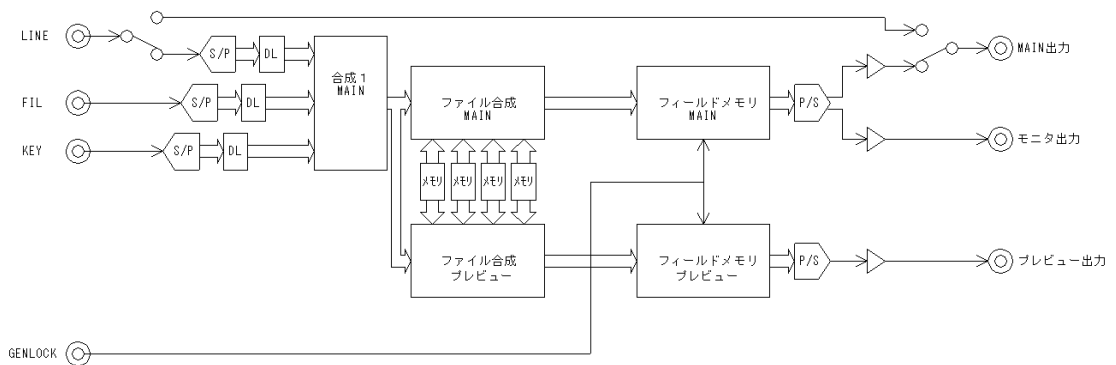
◆筐体外観図



◆コンパネ外観図 (MSK-816)



◆信号の流れ



仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

| | | |
|-----------------|-----------|--------|
| 【型番】 MSK-814 | アルピクス株式会社 | 【整理番号】 |
|-----------------|-----------|--------|